山 形 県 の 井 戸

吉　田　江美子

1　はじめに

以前筆者は「東北地方の井戸」(2001北陸中世考古学研究会）にて山形県を含めた中世の井戸跡について集成する機会を得た。しかし集成のみにとどまり考察するには至らなかった。そこで今回中世のみではなく、古代を含めた上で、山形県の井戸跡について集成と考察を行うことを試みた。特に本稿では井戸を型式分類することによって体系的に捉えながら、検討してきたい。

2　研究史

山形県内の井戸跡について、1982年山形県庄内地方において調査された井戸跡の井戸側について集成・考察がなされている。そこでは伴出遺物を考慮に入れながら９世紀から14世紀までの井戸が４タイプに分類された上、その編年案が提示されている(山形県教委1982)。その上で国府建設に際して多量に供給された木材が井戸を構築する材料としても使用されたとの見解を示している。それを受け1996年に再集成、掘り方（平面･断面）･井戸本体（井戸側）･底部（水溜）などによる再分類が行われている（山形埋文1996)。

3　名称と型式分類について

今回井戸の部分名称と型式分類について宇野隆夫『井戸考』(宇野1982）に従うこととする。よって部分名称は地上施設を井桁、地下壁面施設を井戸側、井戸底施設を水溜と呼称する。また井戸側の構成ついてその素材からＡ類素掘井戸、Ｂ類木組井戸、Ｃ類石組井戸と分類する。その他井戸の構築方法によって細分する。

4　山形県内の井戸跡の分析

今回の集成において、日本海側の庄内地方において139基、内陸地方109基、計248基の井戸において分析を行った(第１図)。井戸側については構成する素材と構造を、掘り方についてはその形状、水溜の有無と構造、出土遺物、廃棄年代について検討した。その内容の詳細は表１から表４に示している[1)]。

（１）井戸側の素材

山形県内の井戸側の素材は大きく、素掘･木材（木組)･石(石組)の３種類に分類できる(第２図上段)。なお個々の井戸の型式分類は報告書の記載に従い分類する。

まず、庄内地方については、Ａ類の素掘が４基(３％)、Ｂ類の木組井戸が121基（86％)、Ｃ類石組井戸は存在せず、構造不明井戸[2)]は15基（11％）であり、大部分がＢ類木組井戸である（第２図上段)。

内陸地方の場合、Ａ類にあたる素掘井戸が77基(72％)、Ｂ類にあたる木材の木組井戸が14基（12％)、Ｃ類にあたる石組井戸が５基(５％)、そして構造不明井戸は13基(11％)である。全体的に素掘の井戸が多いのが特徴である(第２図)。このように両地方では井戸の出現に偏りがみられ、地域的特長が顕著といえるだろう。

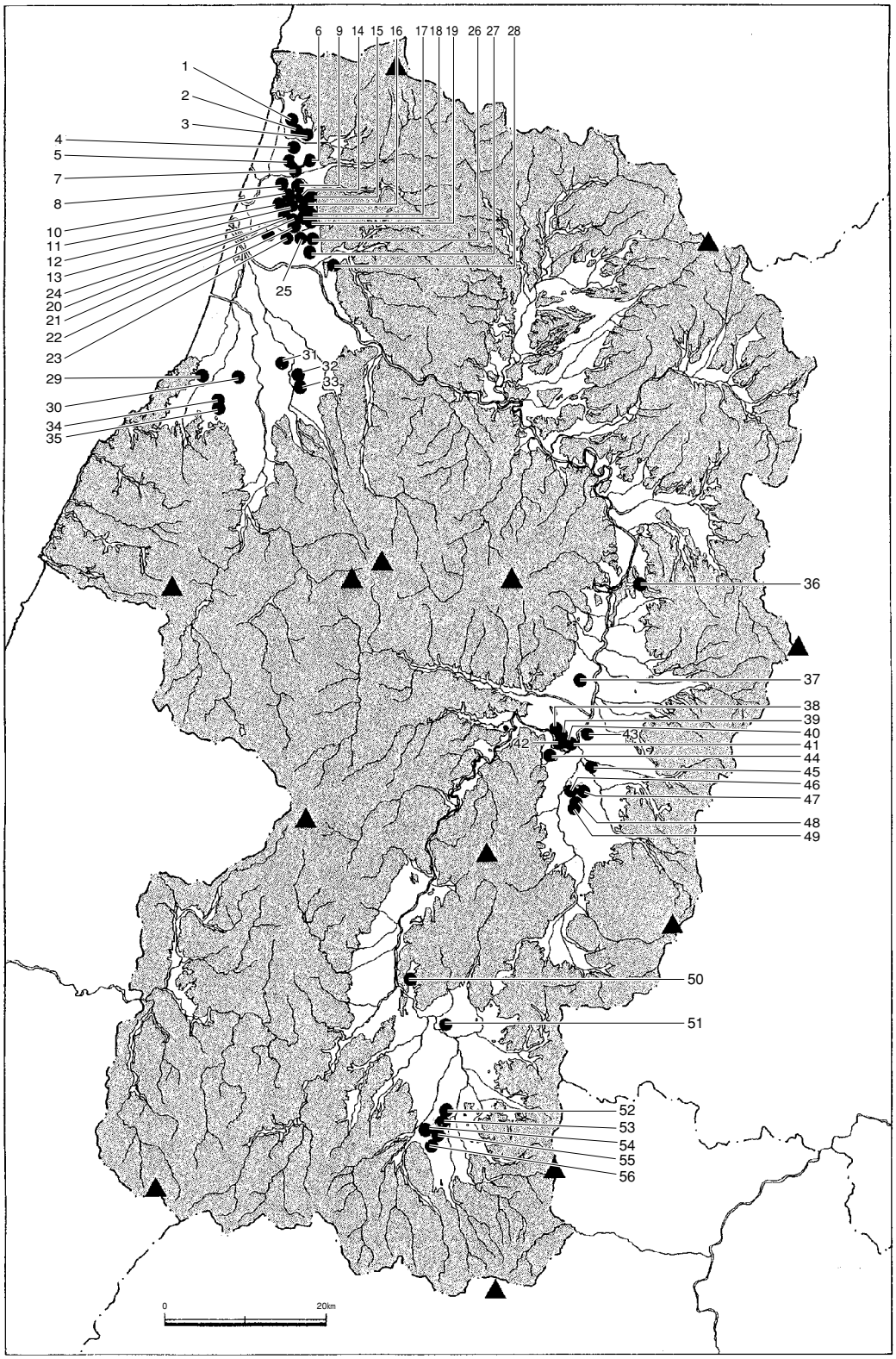
続いてそれらを細分化していく（第３図)。

Ａ類　1996年山形県埋蔵文化財センター報告書では掘り方について分類を行っているが、今回は宇野（宇野1982）の説に従いＡ類については形状による細別は行わないこととする。

各地方について見てみる。内陸地方ではＡ類が７割強を占めるが、庄内地方はごく僅か存在するのみであり、両地方でその出現が大きく分かれるところが特徴的である。

Ｂ類　木材は腐朽しやすいためＢ類としてまでしか判別できないものも多い。よって明確である事例について分類を試みた（第２図中段)。

①　ＢⅠ類(丸太くり抜き井戸）　県内の場合庄内地方で５例、内陸地方で４例確認されている。それらの多くが丸木舟の転用で縦割しくり抜いたものを土圧で組みわせているものである。これは群馬県三ツ寺Ⅰ遺跡（群馬県埋文事1988）の５～６世紀の井戸にも

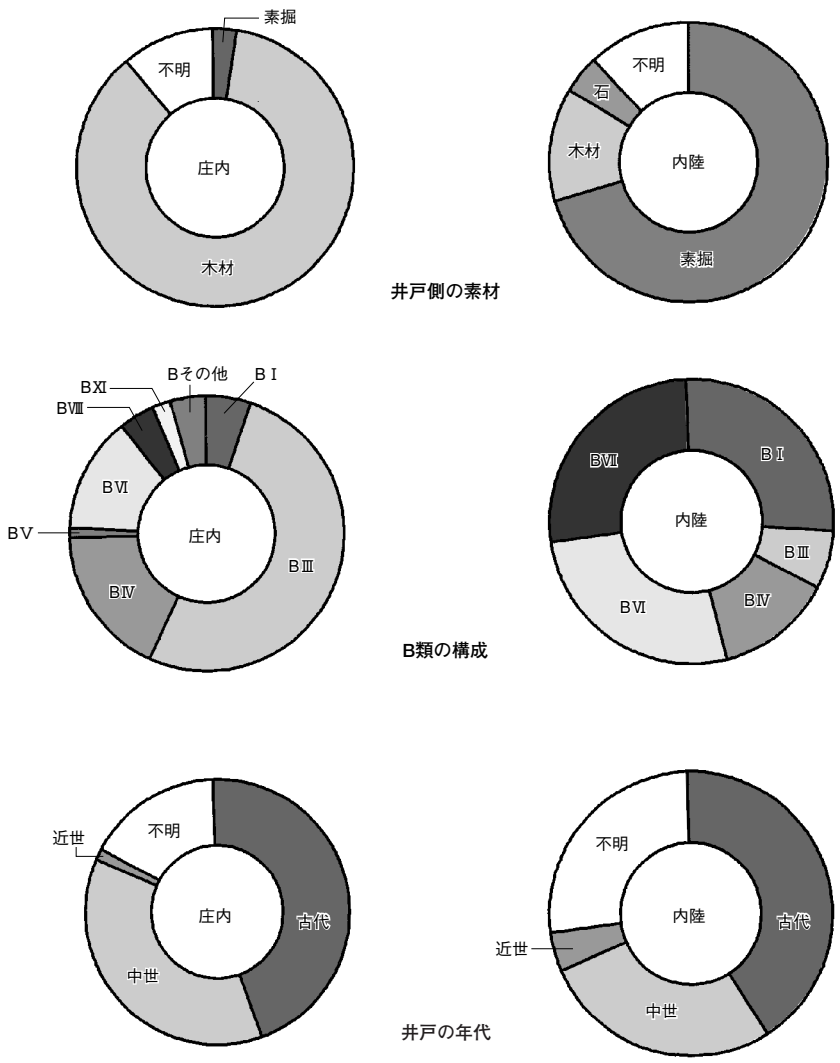


第１図　遺跡位置図

見られる構築法である。

② ＢⅡ類（縦板組無支持井戸）　この型式については県内での存在の有無は確認されていない。しかしながら皆無とはいえず今回ここにあげた。

③ ＢⅢ類（縦板組横桟どめ井戸）　この型式は県内の場合、庄内地方で49例、内陸地方で１例確認されてい



第２図　井戸の構成割合

が困難な場合も多い。

⑧　ＢⅨ類(桶積上げ井戸)　この型式は庄内地方で２例確認されている。ただし県内の例において桶を積上げていた例は確認されていない。

⑨　Ｂ類その他　庄内地方において、上部ないしは内面を横板組、下部ないしは外部を縦板組にしている例が５例確認されている（第５図左)。本稿では「Ｂ類その他」として分類する。

Ｃ類　石組井戸は腐朽しにくい利点があるが、検出時に崩壊している例もあり一部推定による分類もある。

①　ＣⅠ類(石組円筒型井戸)　加工しない石を円筒形に積んだものであるが、内陸地方で５例確認されている。

（２）水溜

井戸の施設内に水溜を有している井戸がある。庄内地方では桶等を含めた曲物が27基(20％)、石材によるものが５基（４％)、曲物と石材による混合型が２基（１％)存在する。内陸地方では曲物が７基（７％)、石材によるものが１基（１％）存在する。

（３）井戸の廃棄年代

続いて、井戸の廃棄年代に触れる。ここでは各型式で年代を検証していく。この章において年代分類は古代・中世・近世以降と大きく３時代に捉えることとする。なお古代は11世紀まで、中世は12世紀から16世紀まで、近世以降は17世紀以降とする。これについても各井戸の廃棄年代は報告書の記載にしたがって決定する。

では県内の井戸の年代について概観する。庄内地方では古代62基（45％)、中世51基（36％)、近世以降２基（１％)、年代不明23基（16％）であった（第２図下段)。内陸地方では古代45基（42％)、中世30基（27％)、近世以降５基（５％)、年代不明29基（26％）であった。以下各型式において年代を考察する。

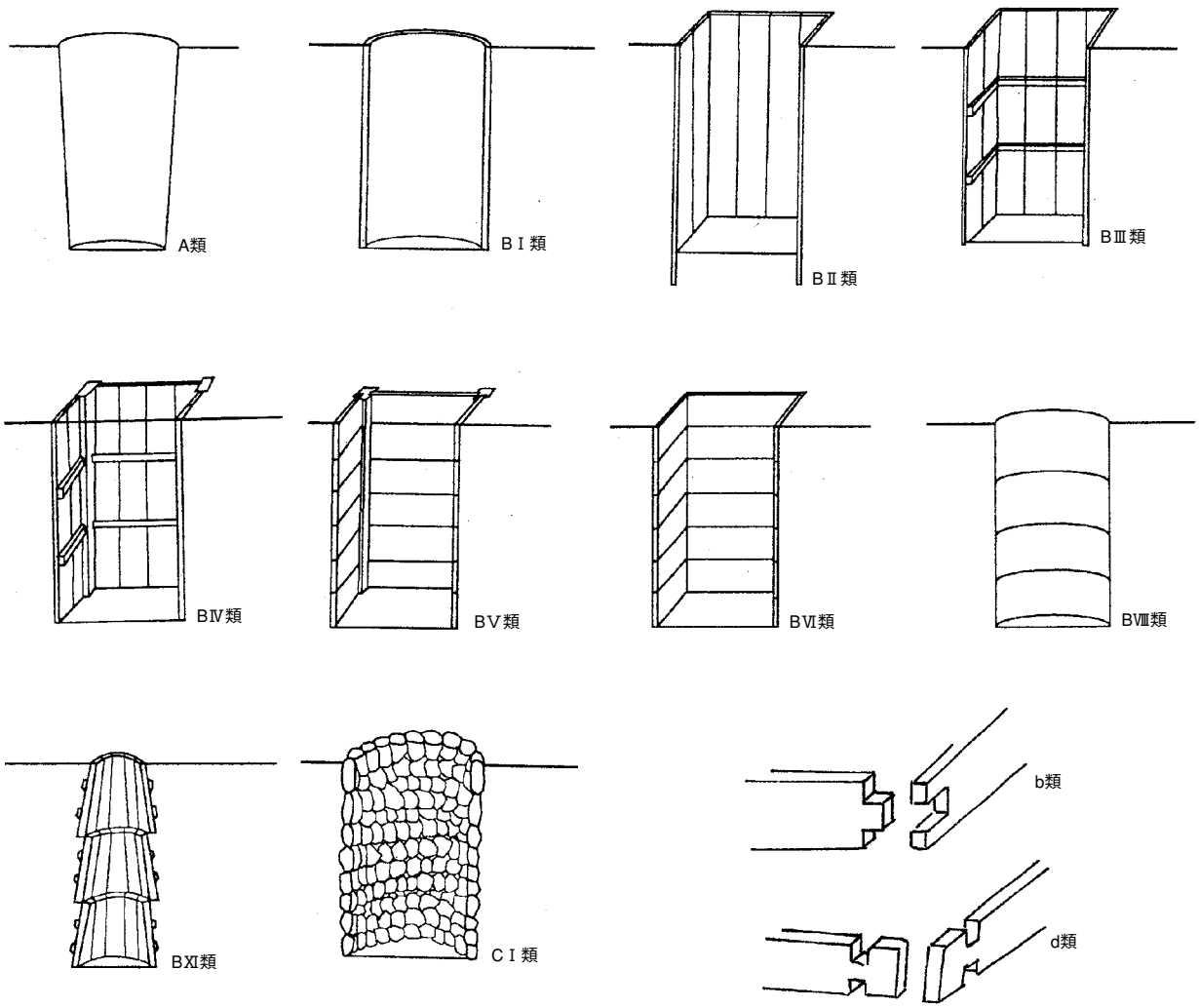
る。庄内地方ではこの型式の井戸が最も多く確認されている。

④　ＢⅣ類（縦板組隅柱横桟どめ井戸）　この型式は、庄内地方で17例、内陸地方で２例確認されている。

⑤　ＢＶ類(横板組隅柱どめ井戸)　この型式は庄内で１例確認されている。

⑥　ＢⅥ類(横板井籠組井戸)　この型式は庄内地方で13例、内陸地方で４例確認されている。またこの型式は用材の形状と仕口の組み方によって細別できるが、報告書上山形県内で確認できるのはｂ類「板材で目違い柄で組むもの」、ｄ類「両方に溝状の切込みをつけて組むもの」（第４図）の２種類である。

⑦　ＢⅧ類(曲物積上げ井戸)　この型式は庄内地方で４例、内陸地方で４例確認されている。ただし県内の例において曲物を積上げているのが明確な例はほとんどない。また水溜として設置された曲物との分類



第３図　井戸の形式

第４図　井籠組

Ａ類　内陸・庄内両地方において古代から中世まで確認されている。

Ｂ類　各型式で検証する。

①　ＢⅠ類　古代から中世にかけて存在する。

②　ＢⅢ類　この型式について庄内地方では古代から中世にかけて見られるものの、内陸地方は中世が主である。

③　ＢⅣ類　この型式は庄内地方では古代から中世にかけて、内陸地方は中世が主である。

④　ＢⅥ類　内陸・庄内両地方ともに古代を主に確認されているが、中世の可能性があるものも含まれている。

⑤　ＢⅧ類　内陸地方のものでうち２例は年代不詳、２例は中世、庄内地方の１例は古代のものである。

⑥　ＢⅨ類　庄内地方の２例中１例は近世以降であるが、残る１例は不明である。

⑦　Ｂ類その他　３例とも９世紀から中世にかけて存在する。

Ｃ類　ＣⅠ類のみである。内陸地方の５例は中世、あるいは近世以降である。

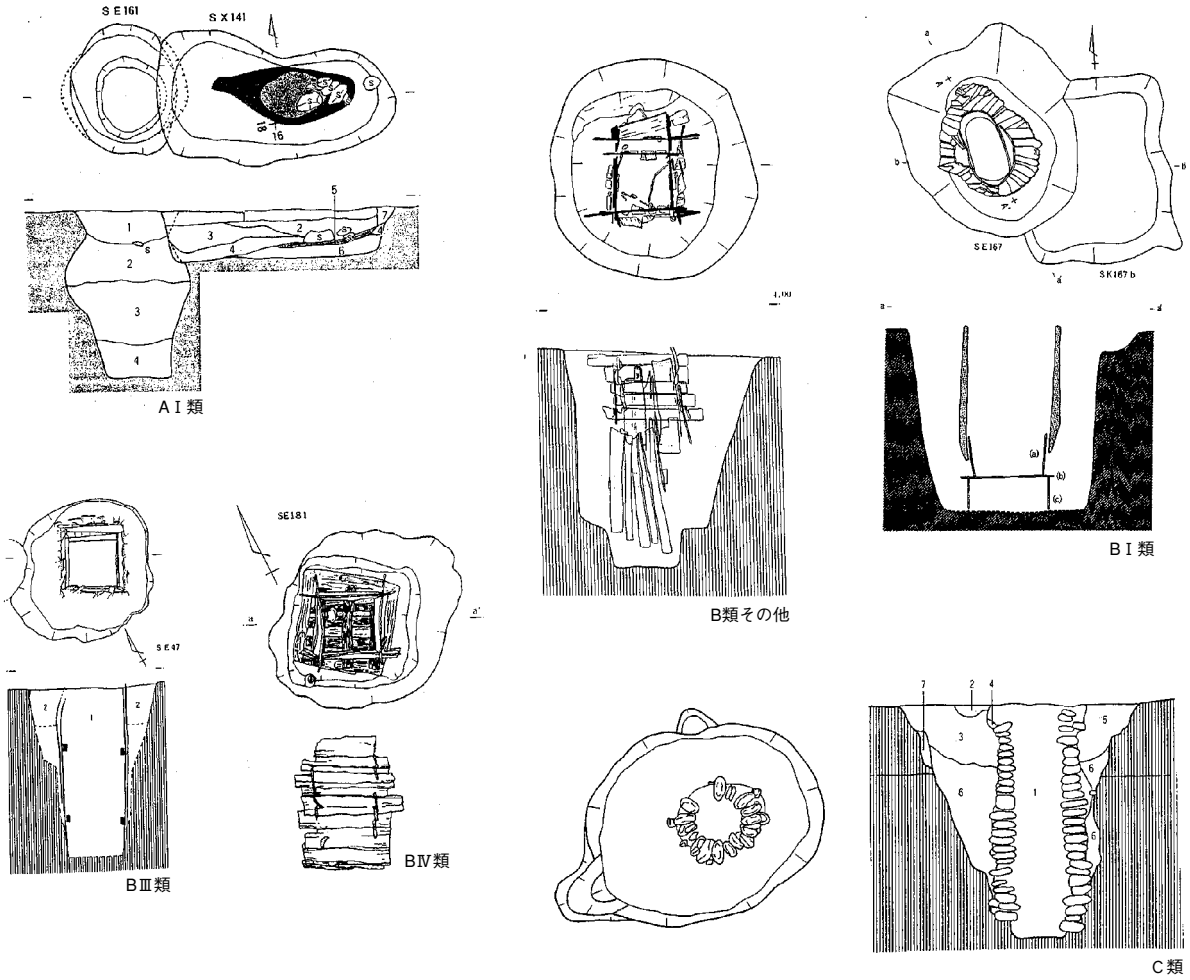
水溜　曲物等の使用は内陸・庄内地方ともに古代から中世にかけて存在する。しかし石材を使用した例としては両地方とも古代のみである。

（４）検出例

次に山形県内の井戸における代表的な検出例について述べる（第５図）。

ＡⅠ類【山形市・向河原遺跡第３次　ＳＥ161】

遺構の断面形は底部から急角度で立ち上がり、中ほどで袋状に膨らむ。下層の埋土は粘質シルトを基調とする。底部から多量の湧水が見られた。須恵器双耳坏のほか、



第５図　検出例

須恵器・土師器の小片が出土していることから年代は平安時代以降と考えられる（山形埋文2003）。

ＢⅠ類【酒田市・手蔵田遺跡　ＳＥ167】

井戸側として丸太材を四つ割にしてくりぬいたものが上部に、水溜として底板のない曲物が下部に２段設置してある。埋土は３層からなり最下層は細砂である。湧水が著しい。土師器・須恵器坏と箸が出土している。９世紀のものと思われる（山形県教委1985）。

ＢⅢ類【酒田市・大槻新田遺跡　ＳＥ47】

井戸側は二重の縦板と２段の横桟で構成され、水溜を伴わない。底部糸切須恵器坏および土師器坏などが出土し、年代は平安時代と考えられる（山形県教委1989）。

ＢⅣ類【山形市・今塚遺跡　ＳＥ181】

平坦な底部には幅５～８㎝、長さ50～55㎝の板材が縦横交互の方形状態に敷かれている。井戸側は８段に組み上げている。井籠組はｂ類である。また底部施設上に石灰岩を敷き詰めている。遺物は墨書のある糸切須恵器坏等が出土しており年代は９世紀後半以降と考えられる（山形埋文1994）。

Ｂ類その他【酒田市・南興屋遺跡　ＳＥ54】

井戸側は柾目の板材を横板として５段使用した。その外側に縦板を打ち込み、縦板には削尖させたものもある。須恵器坏、製塩土器が出土しており、９世紀後半から10世紀初頭以降のものと考えられる（山形県教委1987）。

Ｃ類【寒河江市・落衣長者屋敷跡　ＳＥ240】

上部に崩壊が見られるが27段の石の積上げが確認されている。井戸側内埋土は単一層で下部ほど粘質であり、調査時も湧水が認められた。須恵器甕の破片が出土しているが、中世以降の井戸と考えられる（山形埋文2001）。

５　まとめ

以上、山形県内の井戸について型式分類と年代について統計的に検討した。

その結果Ａ類が内陸地方に、Ｂ類は庄内地方に偏在する傾向が明らかとなった。これら両型式ともに古代から

中世にかけて存在するが、両型式の関係について年代的先後関連性は認められず（第２図下段）、また各遺跡の性格（官衙あるいは一般集落など）から見た場合でも地域的偏在の傾向が非常に顕著であり、性格差による分類も困難である。よってこの傾向は両地域における特色といえるであろう。

宇野（宇野1982）はⅡ期あるいはⅢ期[3)]において東国ではＡ類、西国ではＢ類が主体となるとしている。井戸の型式について内陸地方では関東の、庄内地方では北陸の影響を受けているとすれば、山形県内でも井戸の型式の分布が偏ることは推測される。しかし、両地方の地質（砂質あるいは粘土質）の差や地下水の深度の差など井戸を構築する上での地理的条件もその理由のひとつとして視野に入れなければならないであろう。

地域ごとに見てみると、庄内地方では近世までＢ類は残り、近世以降はＢⅨ類の桶井戸のみとなる。そしてＣ類は登場しない。内陸地方の場合、古代にはＡ類とＢ類が混在する。中世にはＢⅧ類の曲物井戸は残るもののＢ類は姿を消し、Ａ類とＣ類に移行する。近世以降はＣ類が主体となって行く。

型式ごとにその消長を見た場合、ＢⅠ類とＢⅣ類が10世紀末には姿を消すことが認められる。このことは本県の井戸編年を考慮する上で、ひとつの指標となり得る事象であろう。

また、同一遺跡内･同時期の井戸においてＡ類とＢ類、あるいはＡ類とＣ類が混在するのも特徴である。このことについて宇野は泉拓良の意見を受けⅢ期において二つの井戸を組み合わせて用いたこと、そして使用者の身分差あるいは用途差によってＢ類とＣ類井戸を使い分けたと推測している[4)]。しかしＢ類とＣ類の混在する例は認められず、宇野の見解と本県例は一致しない。だが、山形県内の事例においても用途差や使用者の身分差によって使い分けられていた可能性は残る。

最後に、本稿では大雑把な年代観を掴むだけとなってしまったが、今後さらに各井戸の詳細な年代の分析と構造の検証、綿密な編年の考察に加え、廃棄儀礼などの井戸にまつわる祭祀とそれに伴う遺物について次稿の課題としたい。

註

1）表中の遺跡番号は遺跡位置図の番号と対応していてる。また、表中の引用文献について、「県教委○」は山形県教育委員会刊行山形県埋蔵文化財報告書第○集、「山埋セ○」は山形県埋蔵文化財センター調査報告書第○集である。市町村刊行報告書についても同様に省略した。

2）型式不明については今回施設内から木片等が出土しているためＢ類の可能性を残しつつも、木片が井戸の施設の一部と断定できないために構築型式不明と判断されたもの、その他施設の存在の有無が明確でないと判断されたものがあることなどを前提にしておきたい。

3）宇野（宇野1982）は井戸の編年を４段階に設定している。井戸Ⅰ期は弥生中期から古墳時代まで、井戸Ⅱ期を７世紀から12世紀前半まで、井戸Ⅲ期を12世紀後半から16世紀中頃まで、井戸Ⅳ期を16世紀以降としている。Ⅰ期はＡ類・Ｂ類、Ⅱ期にはＡ類･Ｂ類を中心にＡ～Ｄ類まで、Ⅲ期にはＡ･Ｂ･Ｃ類を中心にＡ～Ｄ類まで、Ⅳ期にはＣ類・Ｄ類（土製品組井戸）が存在する。

4）身分の高い人はＢ類を、低い人はＣ類井戸を使用していたか、もしくは飲用等の清浄な水をＢ類、その他の生活用水をＣ類から得ていたとしている。

引用文献

宇野隆夫　1982「井戸考」『史林第65巻５号』史学研究会
(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団　1988『三ツ寺遺跡』埋蔵文化財発掘調査報告書第８集
山形県教育委員会　1977『地正面遺跡』山形県埋蔵文化財調査報告書第51集
山形県教育委員会　1982『北田遺跡』山形県埋蔵文化財調査報告書第53集
山形県教育委員会　1985『手蔵田遺跡』山形県埋蔵文化財調査報告書第87集
山形県教育委員会　1987『南興野遺跡』山形県埋蔵文化財調査報告書第114集
山形県教育委員会　1989『大槻新田遺跡』山形県埋蔵文化財調査報告書第137集
(財)山形県埋蔵文化財センター　1994『今塚遺跡』山形県埋蔵文化財センター報告書第７集
(財)山形県埋蔵文化財センター　1996『向田遺跡』山形県埋蔵文化財センター報告書第34集
(財)山形県埋蔵文化財センター　2001『落衣長者屋敷遺跡』山形県埋蔵文化財センター報告書第79集
(財)山形県埋蔵文化財センター　2003『向河原遺跡』山形県埋蔵文化財センター報告書第111集
山口博之他　2001「東北地方の井戸」『中世北陸の井戸』北陸中世考古学研究会

NO	遺跡名	次数	所在地	遺構名	素材	井戸枠	構造	規模（ｃｍ・径×径×深）	掘り方	底部	出土遺物	年代	備考	出典
1	筋田		遊佐町大字北目字筋田	ＳＥ53	木材（クリ）	方形	横板（5段）	86×79×145	隅丸方形	－	－	不明		県教委187
1	筋田		遊佐町大字北目字筋田	ＳＥ274	不明	不明	不明	173×152×84	円形	－	須恵器甕	9世紀中頃		県教委187
1	筋田		遊佐町大字北目字筋田	ＳＥ438	不明	不明	不明	135×107×46	円形	－	須恵器長頸壺	9世紀中頃		県教委187
2	中田浦		遊佐町大字当山字西山崎	ＳＥ15	木材	円形	丸木舟の転用	150　×150×130	円形	－	須恵器・土師器・曲物・墨書板片	9世紀		県教委182
3	堂田		遊佐町大字北目字堂田	ＳＥ51	木材	方形	縦板＋横桟	200×160×？	不整形	－	土器	不明		山埋セ24
4	木原	1	遊佐町大字宮田字木原	ＳＥ30	木材	方形	縦板	274×215×72	楕円形	曲物	須恵器蓋	10世紀中頃		県教委186
4	木原	1	遊佐町大字宮田字木原	ＳＥ782	木材	方形	縦板＋横桟	350×250×110	楕円形	－	墨書土器	10世紀中頃		県教委186
4	木原	1	遊佐町大字宮田字木原	ＳＥ396	－	円形	素掘	230×230×90	隅丸方形	－	土器片	10世紀中頃		県教委186
4	木原	1	遊佐町大字宮田字木原	ＳＥ708	－	円形	素掘	148×130×80	円形	－	－	10世紀中頃		県教委186
4	木原	2	遊佐町大字宮田字木原	ＳＥ9	木材	方形	横桟＋隅柱	150×140×60	隅丸方形	－	内黒椀・墨書土器「蔵」	９世紀末		山埋セ8
4	木原	2	遊佐町大字宮田字木原	ＳＥ8	木材	不明	不明	125×105×75	隅丸方形	－	斎串・箸・土師器坏	９世紀後半		山埋セ8
5	浮橋		遊佐町大字小原田字浮橋	ＳＥ11	木材	方形	横板（5段）	180　×？×130 ？	円形？	－	土師器・墨書土器・鍬・木製品	10世紀前半		県教委141
5	浮橋		遊佐町大字小原田字浮橋	ＳＥ12	－	不明	不明	160×140×70	円形	－	－	10世紀前半	廃棄井戸	県教委141
5	浮橋		遊佐町大字小原田字浮橋	ＳＥ13	－	不明	不明	250×220×80	円形	－	井戸枠？（廃棄儀礼か？）	10世紀前半	廃棄井戸	県教委141
5	浮橋		遊佐町大字小原田字浮橋	ＳＥ14	木材	円形	丸木舟の転用	110×110×90	円形	－	土師器・斎串・棒状木製品	10世紀		県教委141
5	浮橋		遊佐町大字小原田字浮橋	ＳＥ15	木材	方形	縦板	300×390×190	不整形	－	土師器・大型碗	10世紀		県教委141
6	大楯	1	遊佐町大字原田字大楯他	ＳＥ171	－	円形	素掘？	160×110×50	不整形	曲物	漆器	12～14世紀		県教委121
6	大楯	1	遊佐町大字原田字大楯他	ＳＥ186	木材	不明	縦板	80×80×50	隅丸方形	－	－	12～14世紀		県教委121
6	大楯	1	遊佐町大字原田字大楯他	ＳＥ205	木材	方形	縦板＋横桟	320×150×50	方形	－	かわらけ・漆器・砧	12世紀		県教委121
6	大楯	1	遊佐町大字原田字大楯他	ＳＥ338	木材	方形	縦板＋横桟	180×180×70	方形	－	－	12～14世紀		県教委121
6	大楯	2	遊佐町大字原田字大楯他	ＳＥ411	木材	円形	縦板	110　×110×80	円形	曲物	かわらけ	12世紀		県教委139
6	大楯	2	遊佐町大字原田字大楯他	ＳＥ412	木材	円形	縦板	120×120×70	円形	曲物	－	12世紀		県教委139
7	地正面		遊佐町大字小松	ＳＥ3	木材	方形	縦板＋横板5段	87×87×90	隅丸方形	川原石	土器・ざる・曲物・箸	10世紀前半		県教委51
8	向田		酒田市大字本楯字向田	ＳＥ108	木材（スギ）	方形	横板＋隅柱	240×205×130	円形	－	斎串・須恵器・土師器	平安時代		山埋セ34
9	明成寺		酒田市豊川字明成寺	ＳＥ1	木材	楕円形	不明	180×135×160	楕円形	川原石	木椀	平安末期		県教委32
10	城輪柵	8	酒田市城輪	ＳＥ	木材	方形？	－	220×220×120	円形	－	須恵器	平安時代		現説会資料
10	城輪柵	16	酒田市城輪	ＳＥ	木材	円形	曲物	130×130×140	円形	川原石	木簡・土器片・箸・曲物	平安時代		酒田市昭51
10	城輪柵	19	酒田市城輪	ＳＥ1	木材	方形？	－	105×105×95	円形	－	須恵器	平安時代		酒田市昭53
10	城輪柵	19	酒田市城輪	ＳＥ3	木材	方形？	－	83×83×104	円形	－	須恵器・土師器・種子	平安時代		酒田市昭53
10	城輪柵	25	酒田市城輪	ＳＥ（31－62）	木材	方形	縦板＋隅柱	270×200×60	隅丸方形	－	土師器	平安時代		酒田市昭56
10	城輪柵	25	酒田市城輪	ＳＥ（34－1）	木材	方形？	－	400×300×？	隅丸方形	－	土師器・曲物	平安時代		酒田市昭56
10	城輪柵	25	酒田市城輪	ＳＥ（38－1）	木材	方形	縦板	260×260×？	不整形	－	斎串・箸・土師器坏	平安時代		酒田市昭56
10	城輪柵	37	酒田市城輪	ＳＥ	木材	方形	縦板	100×100×60	隅丸方形	川原石	土師器・曲物・箸	平安時代		酒田市昭60
11	庭田		酒田市大字庭田字中村	ＳＥ110	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	100×100×110	方形	－	曲物底部・須恵器	10世紀中頃		県教委65
11	庭田		酒田市大字庭田字中村	ＳＥ62	木材？	不明	不明	155×130×105	円形	－	珠洲系すり鉢	14世紀		県教委65
12	豊原		酒田市豊原字福枡田	ＳＥ44	－	－	素掘	120×100×80	不整形	曲物	越前焼	中世		県教委66
13	上曽根	1	酒田市大字上曽根字中割	ＳＥ93	木材	方形	縦板	190×170×110	隅丸方形	－	－	不明		県教委116
13	上曽根	2	酒田市大字上曽根字中割	ＳＥ1	木材？	不明	不明	115　×90×100	楕円形	－	土師器・須恵器・曲物	不明	廃棄井戸	県教委147
13	上曽根	2	酒田市大字上曽根字中割	ＳＥ7	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	180×145×125	楕円形	－	土師器・須恵器・箸	不明		県教委147
13	上曽根	2	酒田市大字上曽根字中割	ＳＥ41	木材	方形？	縦板＋横桟＋隅柱？	160×150×100	隅丸方形	－	柄杓・曲物	13世紀		県教委147
13	上曽根	2	酒田市大字上曽根字中割	ＳＥ97	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	168×150×115	楕円形	－	土師器・須恵器	平安時代		県教委147
14	後田		八幡町大字政所字後田	ＳＥ210	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	220×180×？	楕円形	－	土師器・須恵器・曲物	10世紀中頃		県教委64
14	後田		八幡町大字政所字後田	ＳＥ18	木材	方形	縦板＋横桟	133×118×150 ？	隅丸方形	－	土師器・須恵器	11世紀		県教委64
14	後田		鶴岡市大字寺田字後田	ＳＥ2	木材	方形	縦板＋横板（5段）	170×170×85	円形	－	土師器・珠洲系陶器	中世		山埋セ49
14	後田		鶴岡市大字寺田字後田	ＳＥ4	木材	方形	縦板＋横桟	210×210×100	円形	－	須恵器・土師器	中世		山埋セ49
14	後田		鶴岡市大字寺田字後田	ＳＥ27	木材	方形	曲物	100×100×30	隅丸方形	－	須恵器・土師器・中世陶器	中世		山埋セ49
14	後田		鶴岡市大字寺田字後田	ＳＥ28	木材	方形	曲物	80×80×85	隅丸方形	－	須恵器・土師器・珠洲系陶器・青磁片	中世		山埋セ49
14	後田		鶴岡市大字寺田字後田	ＳＥ30	木材	方形？	不明	100×100×60	隅丸方形	曲物	須恵器・土師器・珠洲系陶器	中世		山埋セ49
14	後田		鶴岡市大字寺田字後田	ＳＥ45	木材	方形	曲物	180　×140×80	隅丸方形	－	須恵器・土師器・珠洲系陶器	中世		山埋セ49
14	後田		鶴岡市大字寺田字後田	ＳＥ313	木材	方形？	縦板＋横桟？	140×140×？	不整形	－	－	不明		山埋セ49
15	堂の前	6	八幡町法連寺字堂の前	ＳＥ001	木材	方形	縦板＋横桟	－	楕円形	－	須恵系土器	平安時代？		県教委7
15	堂の前	7	八幡町法連寺字堂の前	ＳＥ226	木材	方形	縦板＋横桟	90×90×？	円形	－	－	平安時代？		県教委30
16	沼田		八幡町大字大島字沼田	ＳＥ10	木材	方形	縦板＋横桟	180×160×120	楕円形	曲物	土師器・須恵器	10世紀前半		県教委78
17	上の田		酒田市大字境興野字上の田	ＳＥ321	木材	方形	上／横板2段・下／縦板	96×96～21×21×160	楕円形	平石	須恵器・黒色土器・土師器	10世紀前半		県教委52
17	上の田		酒田市大字境興野字上の田	ＳＥ285	木材	方形	縦板＋隅柱	45×45×120以上	隅丸方形	不明	土師器・須恵器	11世紀前半		県教委52
17	上の田		酒田市大字境興野字上の田	ＳＥ501	木材	方形	縦板	90×90×？	長方形	－	－	11世紀前半		県教委52
18	北田		酒田市大字関字北田	ＳＥ107	不明	不明	不明	120×120×90	円形	曲物	土師器・須恵器	９末～10世紀	ＳＥ107→ＳＥ109	県教委53
18	北田		酒田市大字関字北田	ＳＥ109	木材	方形	横板	130×130×85	角丸方形	－	土師器・須恵器（墨書「京一」）	10世紀中頃		県教委53
18	北田		酒田市大字関字北田	ＳＥ159	木材	方形	横板（5段）	190×145×105	楕円形	－	墨書土器「南方」「在」	10世紀後半		県教委53
19	関Ｂ	1	酒田市大字関字北田	ＳＥ2	木材	方形	縦板？＋横板2段	220×195×105	楕円形	玉石・曲物	墨書土器「霊長」・木盤	10世紀		県教委47
19	関Ｂ	1	酒田市大字関字北田	ＳＥ39	木材	不明	不明	195×180×94	楕円形	－	－	10世紀？		県教委47
19	関Ｂ	2	酒田市大字関字北田	ＳＥ30	木材	方形	横板	360×330×145	楕円形	川原石・曲物	石帯	10世紀後半		県教委66
19	関Ｂ	2	酒田市大字関字北田	ＳＥ41	木材	方形	隅柱＋横板＋簀	400×400×200	楕円形	－	すり鉢・漆器	13～14世紀		県教委66

20	新青渡		酒田市大字清青渡字家際	S E250	木材（スギ）	方形	不明	320×290×117	楕円形	−	土師器・斎串・箸	10世紀中～後		県教委79
20	新青渡		酒田市大字清青渡字家際	S E260	木材	方形	横板	110×110×85	円形	−	土師器・須恵器	10世紀中頃		県教委79
21	高阿弥田		酒田市大字横代字高阿弥田	S E2	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	165×140×105	楕円形	曲物	土師器・須恵器・箸	11～13世紀		県教委86
21	高阿弥田		酒田市大字横代字高阿弥田	S E3	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	100×100×100	方形	曲物	須恵器・黒色土器・土師器	11～13世紀		県教委86
21	高阿弥田		酒田市大字横代字高阿弥田	S E4	木材	方形	横板	95×95×35	方形	−	須恵器	9世紀		県教委86
21	高阿弥田		酒田市大字横代字高阿弥田	S E136	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	−	−	−	−	不明		県教委86
22	南興野		酒田市大字南興野字南大坪	S E54	木材	方形	上／横板5段・下／縦板	235×215×228	角丸方形	−	土師器・須恵器・製塩土器	9後半～10世紀		県教委114
22	南興野		酒田市大字南興野字南大坪	S E61	木材？	不明	不明	180×170×85	楕円形	−	土器片（墨書土器）	10世紀中頃		県教委114
22	南興野		酒田市大字南興野字南大坪	S E63	木材	方形？	横板？	200×180×85	不整形	−	土器片・斎串	10世紀後半		県教委114
22	南興野		酒田市大字南興野字南大坪	S E203	木材	円形	丸木舟の転用	200×190×166	円形	−	土器片（墨書土器「有」）	10世紀後半		県教委114
23	熊野田	1	酒田市大字熊野田字高砂	S E110	木材？	不明	不明	250×240×180	円形	−	三角板材（廃棄儀礼か？）・土器	10世紀前半		県教委123
23	熊野田	2	酒田市大字熊野田字高砂	S E1	木材？	不明	不明	220×140×150	不整形	−	土師器・須恵器・曲物・斎串・砥石	9世紀		県教委146
24	土崎		酒田市大字土崎字屋敷添	S E13	木材？	不明	不明	120×120×82	円形	−	−	中世		山埋七42
24	土崎		酒田市大字土崎字屋敷添	S E34	不明	不明	不明	200×200×93	不整形	−	珠洲系片口鉢	中世		山埋七42
24	土崎		酒田市大字土崎字屋敷添	S E67	不明	不明	不明	90×90×？	円形	−	木製品	中世		山埋七42
24	土崎		酒田市大字土崎字屋敷添	S E196	木材？	不明	不明	78×78×92	円形	−	−	中世		山埋七42
25	手蔵田		酒田市大字手蔵田字小堤	S E2	木材	方形	横板	110×110×120	隅丸方形	曲物	土師器・須恵器	9世紀		県教委87
25	手蔵田		酒田市大字手蔵田字小堤	S E42	木材	方形	縦板＋横桟	200×145×90	楕円形	−	土師器	9世紀		県教委87
25	手蔵田		酒田市大字手蔵田字小堤	S E45	木材	方形	上／横板4段・下／縦板	210×210×90	隅丸方形	−	土師器・須恵器	9世紀		県教委87
25	手蔵田		酒田市大字手蔵田字小堤	S E167	木材	方形	くり抜き材	156×142×140	楕円形	曲物	土師器・須恵器・箸	9世紀		県教委87
25	手蔵田		酒田市大字手蔵田字小堤	S E29	木材	円形	縦板＋自然木	180×180×200	円形	曲物・自然石	−	不明		県教委98
25	手蔵田		酒田市大字手蔵田字小堤	S E33	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	160×160×165	楕円形	曲物	−	10世紀後半		県教委98
25	手蔵田		酒田市大字手蔵田字小堤	S E119	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	200×200×100	楕円形	曲物	土師器・須恵器	平安時代		県教委98
26	大槻新田		酒田市大字大槻新田	S E33	−	不明	不明	110×100×115	円形	竹製たが	−	不明		県教委129
26	大槻新田		酒田市大字大槻新田	S E88	−	不明	不明	130×130×85	円形	−	−	不明		県教委129
26	大槻新田		酒田市大字大槻新田	S E34	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	160×160×140	角丸方形	曲物	土師器	9世紀中頃		県教委137
26	大槻新田		酒田市大字大槻新田	S E44	木材	方形	横板（6段）	120×120×125	円形	−	土師器・須恵器	9世紀前～中		県教委137
26	大槻新田		酒田市大字大槻新田	S E47	木材	方形	縦板＋横桟	150×130×80	円形	−	土師器・黒色土器・須恵器	10世紀前～中		県教委137
26	大槻新田		酒田市大字大槻新田	S E60	木材	方形	縦板＋横桟	120×120×100	隅丸方形	曲物	土師器・須恵器・龍泉窯青磁碗	10世紀後半？		県教委137
27	桜林		平田町大字桜林字大坪、惣田	S E64	木材	方形	縦板＋隅柱	200×200×100	隅丸方形	曲物	土器	平安時代		県教委126
29	西谷地	1	鶴岡市大字下川字西谷地	S E35	木材	方形	縦板＋横桟	280×230×？	円形	−	土師器	9世紀初頭		山埋七12
29	西谷地	1	鶴岡市大字下川字西谷地	S E40	木材	方形	縦板＋横桟	220×？×？	円形？	−	珠洲系陶器	中世？		山埋七12
29	西谷地	2	鶴岡市大字下川字西谷地	S E2005	−	不明	不明	200×200×180	円形	−	−	不明		山埋七26
29	西谷地	2	鶴岡市大字下川字西谷地	S E2326	木材	方形	縦板＋横桟	160×160×180	不整形	曲物	−	不明		山埋七26
29	西谷地	3	鶴岡市大字下川字西谷地	S E210	−	不明	−	200×150×120	楕円形	−	−	不明		山埋七33
29	西谷地	3	鶴岡市大字下川字西谷地	S E4889	木材	方形	縦板＋横桟？	320×280×180	楕円形	−	−	不明		山埋七33
29	西谷地	3	鶴岡市大字下川字西谷地	S E520	−	方形？	不明	260×200×180	不整形	曲物	−	不明		山埋七33
29	西谷地	3	鶴岡市大字下川字西谷地	S E590	−	不明	不明	170×120×150	楕円形	曲物	土錘	不明		山埋七33
29	西谷地	3	鶴岡市大字下川字西谷地	S E733	木材	方形	縦板＋横桟	300×280×170	楕円形	−	−	不明		山埋七33
29	西谷地	3	鶴岡市大字下川字西谷地	S E910	木材	方形	縦板＋横桟	320×280×180	楕円形	曲物	−	不明		山埋七33
29	西谷地	3	鶴岡市大字下川字西谷地	S E1432	木材	方形	縦板＋横桟	260×200×180	楕円形	曲物	−	不明		山埋七33
29	西谷地	3	鶴岡市大字下川字西谷地	S E2370	木材	方形	縦板＋横桟	360×360×240	不整形	−	−	不明		山埋七33
30	中京田		鶴岡市中京田	S E80	木材	方形	縦板＋横桟	90×90×？	隅丸方形	−	珠洲系陶器・箸・木椀	鎌倉～室町		県教委26
31	平形Ｆ		藤島町跨り	S E39	木材	方形	縦板＋横桟2段	130×130～90×90×140	隅丸方形	−	棒状木製品・須恵器坏	13世紀？		県教委26
31	平形Ｄ		藤島町跨り	S E2	木材（檜）	方形	横板8段	80×80～60×40×200	−	−	墨書須恵器	9世紀		県教委26
32	藤島城	2	藤島町古楯跡	S E107	木材	方形	縦板＋横桟	240×240×124	隅丸方形	−	石鉢	15世紀		県教委159
32	藤島城	2	藤島町古楯跡	S E6	木材	方形	横桟＋隅柱	294×215×213	隅丸方形	桶	漆器・箸・へら・櫛・草履・箱	15世紀		県教委159
32	藤島城	2	藤島町古楯跡	S E145	木材	方形	縦板＋横桟	220×220×237	不整形	−	越前甕・珠洲甕・青磁・かわらけ	15世紀		県教委159
32	藤島城	2	藤島町古楯跡	S E300	木材	方形	−	235×220×156	隅丸方形	−	珠洲・越前・青磁・染付け	15世紀		県教委159
32	藤島城	2	藤島町古楯跡	S E310	木材	方形	横木＋茅	213×160×177	楕円形	−	珠洲・越前・青磁・白磁・染付け	15世紀		県教委159
32	藤島城	4	藤島町古楯跡	S E35	木材	不明	縦丸木	230×210×230	円形	−	−	15世紀		県教委181
32	藤島城	4	藤島町古楯跡	S E36	木材	方形	横桟	230×210×140	楕円形	−	−	15世紀		県教委181
32	藤島城	4	藤島町古楯跡	S E37	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	？×？×200	楕円形？	−	−	15世紀		県教委181
32	藤島城	4	藤島町古楯跡	S E38	木材	不明	−	300×300×170	円形	−	青磁・珠洲系陶器	15世紀	廃棄井戸	県教委181
32	藤島城	4	藤島町古楯跡	S E41	木材	不明	−	290×290×190	円形	−	青磁	15世紀		県教委181
32	藤島城	4	藤島町古楯跡	S E52	木材	方形	縦板＋横桟	200×200×180	方形	−	−	15世紀		県教委181
32	藤島城	5	藤島町古楯跡	S E2	木材	円形	縦板＋桶	300×260×210	楕円形	−	珠洲系陶器・越前焼・瀬戸焼	15～16世紀		県教委193
32	藤島城	6	藤島町古楯跡	S E24	木材	方形	横木	140×140×95	円形	−	越前焼	15世紀		山埋七18
33	藤島Ｄ		藤島町中町	S E64	木材	円形	桶状	150×150×40	円形？	−	−	近世以降		山埋七82
33	藤島Ｄ		藤島町中町	S E71	木材	円形	桶状	−	−	−	寛永通宝	近世以降	竹製水道管	山埋七82
34	大東		鶴岡市大字寺田字大東	S E97	木材	方形	縦板＋横桟	190×140×160	円形？	−	かわらけ	13～14世紀		県教委153
34	大東		鶴岡市大字寺田字大東	S E400	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	180×170×140	隅丸方形	−	土師器・須恵器・箸・刀子	13～14世紀		県教委153
34	大東		鶴岡市大字寺田字大東	S E360	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	100×80×170	方形	−	箸	13世紀		県教委153
34	大東		鶴岡市大字寺田字大東	S E386	木材？	方形？	−	150×90×110	楕円形	曲物	−	不明	廃棄井戸	県教委153

34	大東		鶴岡市大字寺田字大東	ＳＥ517	木材	方形	横桟	110×100×70	隅丸方形	－	－	不明		県教委153
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ34	木材	方形	縦板＋横桟	280×280×170	円形	－	珠洲系陶器	中世		山理セ50
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ301	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱	150×120×140	隅丸方形	－	珠洲系陶器・曲物	中世		山理セ50
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ302	木材	方形	不明	130×130×120	隅丸方形	－	－	不明		山理セ50
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ303	木材	方形	縦板＋横桟？	240×210×120	楕円形	－	曲物	中世		山理セ50
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ304	木材	方形	縦板＋横桟	100×100×140	隅丸方形	－	珠洲系陶器・曲物	中世		山理セ50
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ309	木材	方形	縦板＋横桟	160×130×150	楕円形	－	珠洲系陶器	中世		山理セ50
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ314	木材	方形	縦板＋横桟	150×110×160	楕円形	－	珠洲系陶器	中世		山理セ50
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ323	木材	方形	縦板＋横桟	250×200×190	楕円形	－	珠洲系陶器・曲物	中世		山理セ50
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ350	木材	方形	縦板＋横桟	160×140×180	楕円形	－	珠洲系陶器	中世		山理セ50
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ360	木材	方形	縦板＋横桟？	150×150×109	円形	－	珠洲系陶器・曲物	中世		山理セ50
35	塔の腰		鶴岡市字井岡字塔の腰	ＳＥ520	不明	不明	不明	330×220×150	楕円形	－	珠洲系陶器	中世		山理セ50
36	北島		村山市大字土生田字北島	ＳＥ162	－	－	素掘	78×78×76	円形	－	－	不明		山理セ108
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ1550	－	円形	素掘	200×150×120	円形	－	須恵器・黒色土器・土師器	平安時代		山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ1585	－	円形	素掘	120×110×70	円形	－	－	不明		山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ1596	－	円形	素掘	135×130×50	円形	－	－	不明		山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ448	－	円形	素掘	136×114×70	不整形	－	－	不明		山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ1465	－	－	－	245×183×90	不整形	－	須恵器	平安時代	十和田ａテフラ	山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ850	木材	方形？	－	184×160×110	不整形	－	須恵器・木製箆	平安時代		山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ465	－	－	－	180×160×115	不整形	－	－	不明		山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ1569	－	－	－	？×？×70	？	－	－	不明		山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ734	－	－	－	225×188×55	不整形	－	－	不明		山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ1599	－	－	－	？×？×65	？	－	－	不明		山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ1571	－	－	－	345×220×172	不整形	－	須恵器	不明		山理セ70
37	四ツ塚	1	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ1570	－	－	－	200×172×50	不整形	－	－	不明		山理セ70
37	四ツ塚	2	河北町大字吉田字馬場	ＳＥ276	－	－	素掘？	220×220×154	円形	－	須恵器・土師器	中世		山理セ74
38	高松Ⅰ		寒河江市大字柴橋字高松	ＳＥ15	－	円形	素掘	160×120×120	円形	－	－	不明		山理セ61
38	高松Ⅰ		寒河江市大字柴橋字高松	ＳＥ16	－	円形	素掘	200×160×160	円形	－	－	不明		山理セ61
39	落衣長者屋敷		寒河江市大字柴橋字金谷	ＳＥ640	－	－	素掘	580×478×280	楕円形	－	土師器・須恵器	不明		山理セ79
39	落衣長者屋敷		寒河江市大字柴橋字金谷	ＳＥ150	－	－	素掘	300×300×240	不整形	－	青磁	中世		山理セ79
39	落衣長者屋敷		寒河江市大字柴橋字金谷	ＳＥ240	石	円形	石組	380×260×220	楕円形	－	須恵器	中世		山理セ79
39	落衣長者屋敷		寒河江市大字柴橋字金谷	ＳＥ3380	－	－	素掘	260×230×200	楕円形	－	珠洲系すり鉢	中世		山理セ79
39	落衣長者屋敷		寒河江市大字柴橋字金谷	ＳＥ3388	－	－	素掘	280×280×200	隅丸方形	－	珠洲系すり鉢	中世		山理セ79
39	落衣長者屋敷		寒河江市大字柴橋字金谷	ＳＥ3400	石	円形	石組	540×450×230	楕円形	－	土師器	中世		山理セ79
40	高瀬山(2期)		寒河江市大字柴橋字落衣	ＳＥ863	木材	円形	曲物	160×160×150	円形	－	須恵器・土師器	中世		山理セ80
40	高瀬山(2期)		寒河江市大字柴橋字落衣	ＳＥ927	木材	円形	曲物	230×230×180	円形	－	－	中世		山理セ80
40	高瀬山(2期)		寒河江市大字柴橋字落衣	ＳＥ2136	木材	円形	丸木舟の転用	280×280×210	円形	－	墨書土器・木釘	9世紀後半		山理セ80
40	高瀬山(2期)		寒河江市大字柴橋字落衣	ＳＥ7098	木材	円形	横板＋丸木舟の転用	270×270×250	円形	－	土師器・木製椀	8～9世紀		山理セ80
40	高瀬山(2期)		寒河江市大字柴橋字落衣	ＳＥ7051	木材	円形	曲物	180×180×180	円形	－	土師器・須恵器	8～9世紀		山理セ80
40	高瀬山(2期)		寒河江市大字柴橋字落衣	ＳＥ4075	木材	方形	横板	250×250×240	楕円形	曲物	須恵器	8～9世紀		山理セ80
40	高瀬山(2期)		寒河江市大字柴橋字落衣	ＳＥ4056	木材	円形	曲物	160×160×130	円形	曲物	－	不明		山理セ80
41	高瀬山ＳＡ		寒河江市大字柴橋字落衣	ＳＥ562	木材	方形	横板	290×280×200	隅丸方形	曲物	須恵器	古代		山理セ94
41	高瀬山ＳＡ		寒河江市大字柴橋字落衣	ＳＥ764	－	－	－	300×300×160	円形	－	須恵器	9世紀		山理セ94
41	高瀬山ＳＡ		寒河江市大字柴橋字落衣	ＳＥ9606	－	－	－	300×300×220	楕円形	－	須恵器・土師器	古代		山理セ94
42	高瀬山Ｋ		寒河江市大字寒河江字山西	ＳＥ3	木材	方形	－	400×150×250	円形	－	土師器・須恵器・人面刻印礫	8世紀後半		県教委158
43	昭和新田		朝日町大字馬神字北森	ＳＥ101	木材	方形？	縦板＋横桟？	300×300×170	円形	－	須恵器	中世		山理セ54
43	昭和新田		朝日町大字馬神字北森	ＳＥ105	不明	不明	不明	450×450×300	不整形	－	瓷器系陶器	中世		山理セ54
44	柳沢条里		中山町大字柳沢	ＳＥ2	石	円形	石組	90×90×？	円形	－	－	不明		県教委152
44	柳沢条里		中山町大字柳沢	ＳＥ7	石	円形	石組	110×110×？	円形	曲物	－	不明		県教委152
45	蔵増押切		天童市大字蔵増押切	ＳＥ105	－	－	素掘	220×200×140	円形	－	－	不明	覆屋跡	山理セ112
45	蔵増押切		天童市大字蔵増押切	ＳＥ135	－	－	素掘	230×220×140	隅丸方形	－	－	不明		山理セ108
45	蔵増押切		天童市大字蔵増押切	ＳＥ136	－	－	素掘	150×150×780	円形	－	須恵器甕	不明		山理セ108
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ106	－	－	素掘	238×220×132	楕円形	－	土師器・須恵器	平安時代		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ135	－	－	素掘	185×164×162	楕円形	－	－	不明		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ142	－	－	素掘	125×125×128	円形	－	龍泉窯系青磁	鎌倉時代		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ143	－	－	素掘	100×100×93	円形	－	－	不明		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ144	－	－	素掘	160×152×140	楕円形	－	土師器・須恵器	平安時代		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ145	－	－	素掘	105×95×90	楕円形	－	－	不明		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ146	－	－	素掘	210×200×120	楕円形	曲物	須恵器・青磁	鎌倉時代		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ147	－	－	素掘	150×102×106	楕円形	曲物	－	不明		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ148	－	－	素掘	127×112×86	楕円形	－	－	不明		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ151	－	－	素掘	182×157×129	楕円形	－	須恵器甕	平安時代		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ153	－	－	素掘	174×151×98	楕円形	－	－	不明		山理セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ154	－	－	素掘	255×230×96	楕円形	－	須恵器	９世紀～10世紀		山理セ111

46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ160	－	－	素掘	195×178×89	楕円形	－	須恵器坏	平安時代	山埋セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ161	－	－	素掘	137×112×176	楕円形	－	須恵器双耳坏	平安時代	山埋セ111
46	向河原	3	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ162	－	－	素掘	175×175×128	円形	－	須恵器坏	平安時代	山埋セ111
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ281	－	－	素掘	160×140×110	楕円形	－	土師器	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ247	－	－	素掘	190×180×110	楕円形	－	－	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ215	－	－	素掘	170×140×110	楕円形	－	－	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ201	－	－	素掘	160×100×100	楕円形	－	土師器	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ280	－	－	素掘	130×130×120	円形	－	－	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ284	－	－	素掘	160×160×100	円形	－	土師器・須恵器	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ273	－	－	素掘	160×160×100	円形	－	－	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ243	－	－	素掘	200×170×110	楕円形	－	土師器・須恵器	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ214	－	－	素掘	140×140×120	円形	－	土師器・須恵器	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ244	－	－	素掘	170×170×120	楕円形	－	－	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ208	－	－	素掘	150×150×120	楕円形	－	土師器・須恵器	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ268	－	－	素掘	180×170×120	楕円形	－	－	平安時代	山埋セ107
46	向河原	4	山形市大字渋江字向河原	ＳＥ218	－	－	素掘	180×180×140	楕円形	－	－	平安時代	山埋セ107
47	今塚		山形市大字今塚	ＳＥ181	木材	方形	横板	170×136×104	楕円形	板材・石灰岩	須恵器	9世紀後半	山埋セ7
47	今塚		山形市大字今塚	ＳＥ906	－	円形	素掘	120×120×120	円形	－	土師器・須恵器	不明	山埋セ7
48	境田		山形市見崎	ＳＥ156	－	－	素掘	170×180×150	円形	曲物	木簡・土器片	平安時代？	県教委62
48	境田		山形市見崎	ＳＥ157	－	－	素掘	130×130×85×150	円形	－	－	平安時代	県教委62
48	境田		山形市見崎	ＳＥ158	－	－	素掘	110×120×90	楕円形	－	土師器	平安時代	県教委62
49	境田Ｂ		山形市見崎	ＳＥ	－	円形	素掘	155×120×180	楕円形	－	曲物	平安時代	県教委11
50	黒藤館		白鷹町大字畦藤字館ノ内	ＳＥ37	－	円形	素掘	200×180×185	円形	－	－	近世以降	山埋セ16
50	黒藤館		白鷹町大字畦藤字館ノ内	ＳＥ37	－	円形	素掘	220×220×190	円形	－	－	近世以降	山埋セ16
50	黒藤館		白鷹町大字畦藤字館ノ内	ＳＥ38	－	円形	素掘	300×270×240	円形	－	－	近世以降	山埋セ16
50	黒藤館		白鷹町大字畦藤字館ノ内	ＳＥ36	－	円形	素掘	160×140×180	円形	－	－	近世以降	山埋セ16
51	植木場一		南陽市大字宮崎字植木場一	ＳＥ2033	－	円形	素掘？	183×183×130	円形	－	須恵器・黒色土器・土師器	平安時代	祭祀痕跡	山埋セ59
51	植木場一		南陽市大字宮崎字植木場一	ＳＥ2351	－	円形	素掘？	325×325×170	円形	－	須恵器・黒色土器・土師器	平安時代		山埋セ59
51	植木場一		南陽市大字宮崎字植木場一	ＳＥ2292	－	円形	素掘？	260×260×170	円形	－	須恵器・黒色土器・土師器	平安時代		山埋セ59
51	植木場一		南陽市大字宮崎字植木場一	ＳＥ2291	－	円形	素掘？	350×320×130	不整形	－	須恵器・黒色土器・土師器・石製品	平安時代	祭祀痕跡	山埋セ59
52	北小屋屋敷		米沢市窪田町窪田北小屋屋敷	ＳＥ39	木材	方形	不明	154×138×48	円形	－	－	不明		山埋セ103
52	北小屋屋敷		米沢市窪田町窪田北小屋屋敷	ＳＥ23	石	－	石組	70×50×20	楕円形	－	近世陶磁器・石臼	近世以降		山埋セ103
53	中里		米沢市窪田町窪田字蔵京	ＳＥ233	－	－	素掘	210×195×110	不整形	－	土師器	不明		山埋セ75
53	中里		米沢市窪田町窪田字蔵京	ＳＥ1338	－	－	素掘	530×420×150	不整形	－	須恵器・砥石	不明		山埋セ75
53	中里		米沢市窪田町窪田字蔵京	ＳＥ1529	－	－	素掘	630×480×150	楕円形	－	須恵器	不明		山埋セ75
53	中里		米沢市窪田町窪田字蔵京	ＳＥ2608	－	－	素掘	180×180×80	円形	－	土師器・黒色土器・須恵器	平安時代		山埋セ75
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ728	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱？	110×110×200	隅丸方形	－	石臼	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ133	木材	方形	縦板＋横桟＋隅柱？	200×120×260	不整形	－	曲物	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ76	－	－	素掘	84×62×141	－	－	内耳土塝	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ78	－	－	素掘	144×20×59	－	－	内耳土塝	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ123	－	－	素掘	120×92×218	－	－	内耳土塝	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ546	－	－	素掘	155×133×106	－	－	志野端反皿	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ548	－	－	素掘	173×128×225	－	－	砥石	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ552	－	－	素掘	99×72×167	－	－	珠洲系すり鉢・石臼	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ561	－	－	素掘	130×98×225	－	－	染付皿	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ578	－	－	素掘	99×64×218	－	－	瀬戸天目茶碗・瀬戸皿	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ580	－	－	素掘	126×85×220	－	－	かわらけ・土製品・炭	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ581	－	－	素掘	143×73×213	－	－	内耳土塝	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ584	－	－	素掘	89×78×248	－	－	砥石	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ599	－	－	素掘	87×67×183	－	－	釘？	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ723	－	－	素掘	92×67×218	－	－	石臼・砥石	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ731	－	－	素掘	82×75×208	－	－	青磁椀・かわらけ・石臼	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ735	－	－	素掘	205×80×25	－	－	内耳土塝	中世		山埋セ43
54	荒川		米沢市塩井町塩野字荒川下	ＳＥ747	－	－	素掘	79×138×180	－	－	砥石・茶臼	中世		山埋セ43
55	大浦	Ｂ	米沢市中田町字大浦	ＤＮ1042	－	－	素掘	120×120×110	円形	－	－	8世紀中頃		米沢市64
55	大浦	Ａ	米沢市中田町字大浦	ＤＮ9	木材	円形	縦丸木	150×150×96	隅丸方形	川原石	－	古代		米沢市17
56	古志田東		米沢市林泉寺3丁目	ＤＮ203	木材	方形？	横板？	180×172×70	円形	－	－	平安		米沢市73